

少年総合センター

WPGM については、AGU 側との非公式な会合が持たれ、財政的負担は全て AGU が引き受け、日本側の実行委員会は会場の手配や social program などについて引き受けることが決まった。プログラム委員会が今後セッションの募集を行い、セッションの分担について各学会に協力を依頼することになる。気象学会としても、シンポジウム 2 つ程度を受け持つことになりそうである。また、気象学会からの実

行委員会委員は通常任理事が勤める。

合同大会については、2001年以降の合同大会及び連絡事務局の体制について検討が行われている。そのために、幹事会を作り、2001年以降の運営体制を定める会則のたたき台を作ることになった。合同大会は現在1500人規模となり、大き過ぎてボランティアでは限界に近い、このため引き受け手がないなどの問題が生じており、曲がり角に来ているのではないかと思われる。

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
メソ数値予報とその応用に関する公開セミナー・ワークショップ	1999年11月8日 ～10日	気象庁 (後援)(財)シップアンド オーシャン財団	気象庁 (東京都千代田区大 手町1-3-4)	「天気」46巻9月号
日本気象学会1999年度秋季大会	1999年11月24日 ～26日	日本気象学会	アクロス福岡 (福岡県福岡市中央 区天神1-1-1)	「天気」46巻5月号
第22回極域気水圏シンポジウム	1999年12月8日 ～9日	国立極地研究所	国立極地研究所講堂 (東京都板橋区加賀)	「天気」46巻7月号
台風強度予測のメソスケールモデル相互比較に関する国際ワークショップ (WMO/COMPARE 第3事例：1990年台風19号 Floの急発達)	1999年12月13日 ～15日	科学技術庁、気象庁、 WMO	気象庁講堂 (東京都千代田区大 手町1-3-4)	問い合わせ先 気象庁予報部数値予報課 美濃寛士 Tel：03-3212-8341(内線 3305) E-mail： hmino@npd.kishou.go.jp
第46回風に関するシンポジウム	1999年12月21日	日本建築学会(幹事学会) 等11学会	京都大学防災研究所 D-570号室 (宇治市五ヶ庄)	
第13回数値流体力学シンポジウム	1999年12月21日 ～23日	日本数値流体力学学会	中央大学理工学部春 日キャンパス (文京区春日)	
理論応用力学講演会	2000年1月25日 ～27日	日本学術会議メカニク ス・構造研究連絡委員会	日本学術会議講堂 (東京都港区六本木)	
第15回オホーツク海と流水に関する国際シンポジウム 第2回氷海における海底油 田パイプラインに関する ワークショップ	2000年2月6日 ～10日	オホーツク海・氷海研究 グループ、北大低温研、 紋別市、(社)北方圏セン ター	紋別市民会館・紋別 市文化会館 (北海道紋別市)	
第2回北極環境国際シンポジウム 第5回ニーオルスン科学セ ミナー	2000年2月23日 ～25日	国立極地研究所、ニーオ ルスン観測調整会議 (NySMAC) 他	国立極地研究所 (東京都板橋区加賀)	「天気」46巻10月号